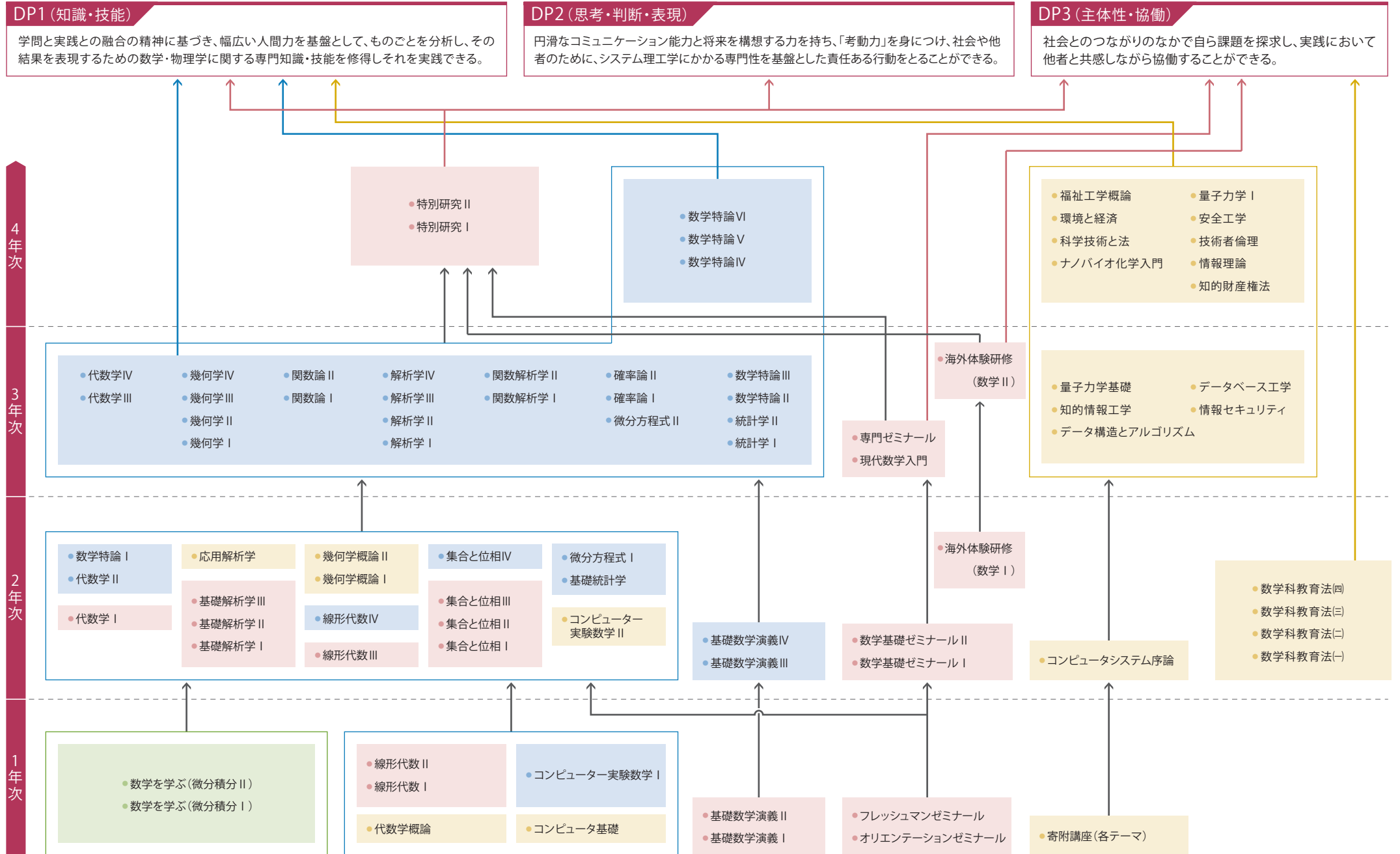


# システム工学部 (数学科) カリキュラムツリー

**プログラムポリシー** 必修の共通教養科目を履修した上で、現代数学の各専門分野を深く学べるように編成する。演習や実習を通じたきめ細かな少人数教育を基本とする。1年次には、ゼミナール科目を通じて発表や議論の経験を積むための基礎を学ぶ。2年次には、講義、ゼミナール及び演習を通じて現代数学の入門的事項を学ぶ。3年次には、現代数学の各専門分野の基礎を修得し、4年次では、特別研究において、現代数学の各専門分野の発表や議論によって、コミュニケーション能力の涵養もできるようになっている。きめ細かな少人数教育による学習支援により、さまざまな事象に内在する本質を見抜く洞察力を確実に修得できるようにカリキュラムが編成されている。



# システム理工学部 (物理・応用物理学科) カリキュラムツリー

● 共通教養科目

**プログラムポリシー** 自然の法則を理解する科目と現象の中に法則を発見する実験科目の学習を通して、社会の未知の問題に挑戦できる人を育てる。

- ◆ **基礎・計算物理コース**: 量子力学・統計力学の理解を深め、観測することのできない物理過程をコンピュータを駆使して可視化し、解明する技術を身につける。
- ◆ **応用物理コース**: 電子デバイス、超音波、電磁波を応用した産業技術の基本原理を、実験やシミュレーションを通して解明し、技術者としての素養を身につける。

## DP1 (知識・技能)

学問と実践との融合の精神に基づき、幅広い人間力を基盤として、ものごとを分析し、その結果を表現するための物理学に関する専門知識・技能を修得し、それを実践できる。

## DP2 (思考・判断・表現)

円滑なコミュニケーション能力と将来を構想する力を持ち、「考動力」を身につけ、社会や他者のために、システム理工学にかかる専門性を基盤とした責任ある行動をとることができる。

## DP3 (主体性・協働)

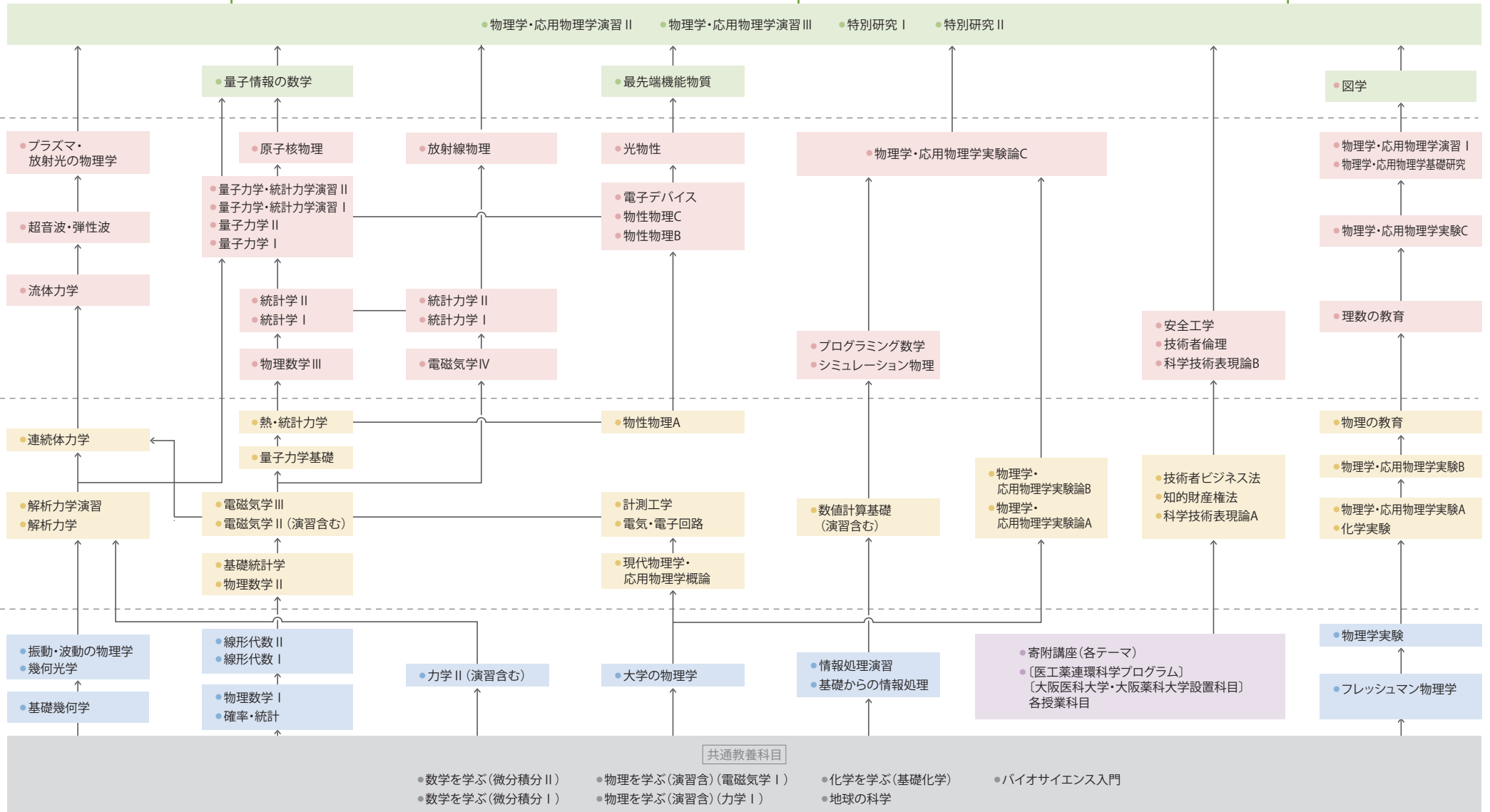
社会とのつながりのなかで自ら課題を探索し、実践において他者と共感しながら協働することができる。

4  
年次  
応用

3  
年次  
発展

2  
年次  
基礎

1  
年次  
導入



# システム理工学部 (機械工学科) カリキュラムツリー

- 専門必修
- 共通教養指定科目 (必修)
- 共通教養指定科目
- 専門選択必修
- 専門選択
- 実験・演習
- 講義

**プログラムポリシー** 自然の法則や既存の「しくみ」の原理を理解し、社会に役立つ新たな「しくみづくり」を率先してできる技術者を育てる。数学と物理を基礎とする機械4力学と機械の設計・生産・製造・制御・材料に関連する幅広い知識・技能を修得するだけでなく、それらを実際の問題に適用し、創造力や論理的思考能力および問題解決能力を活かすことができる人材を輩出する。

**DP1 (知識・技能)**

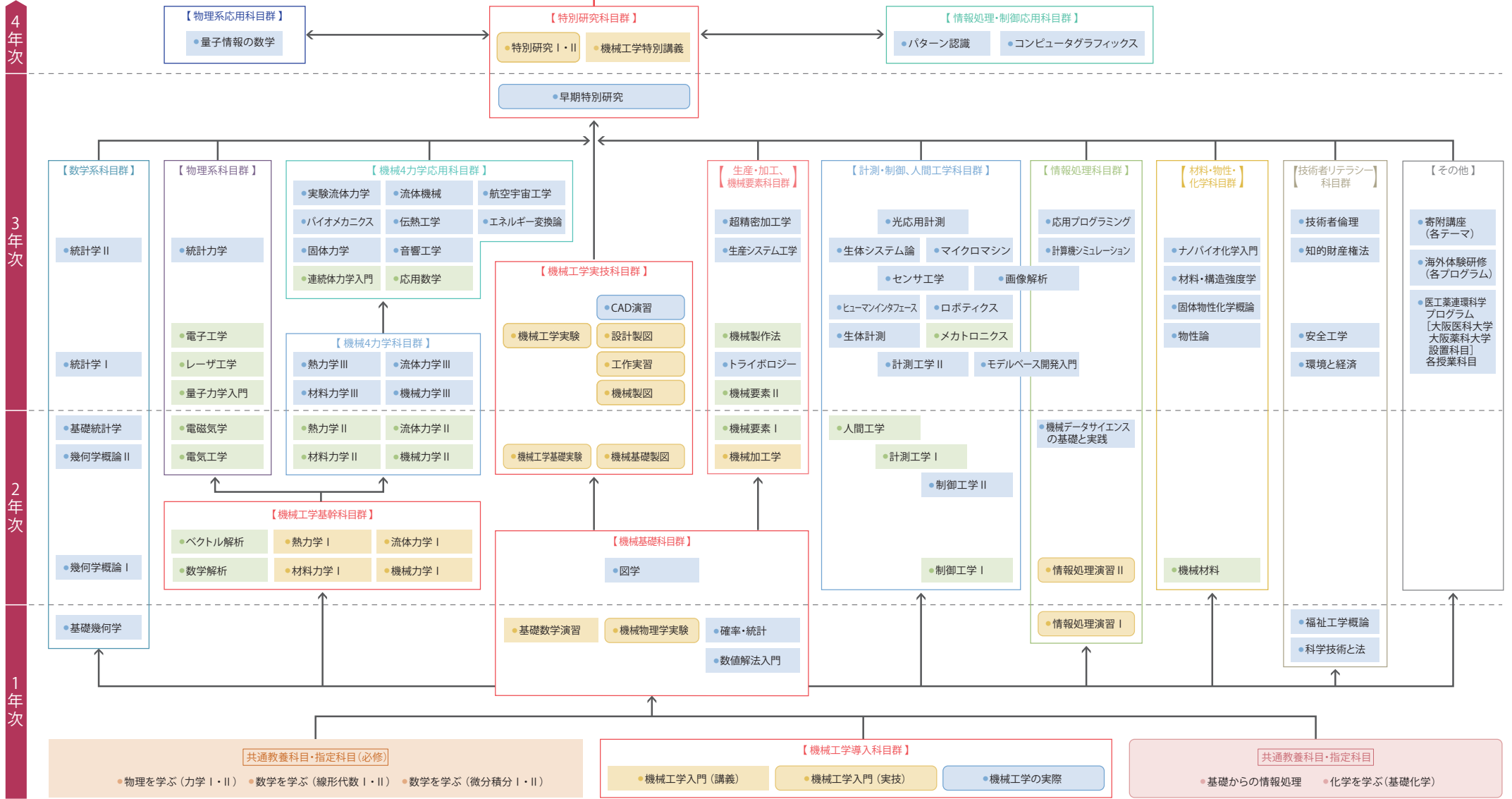
学問と実践との融合の精神に基づき、幅広い学びと豊かな人間性を基盤として、社会に役立つ「しくみづくり」に貢献する専門知識・技能を修得し、それらを活用することができる。

**DP2 (思考・判断・表現)**

社会に役立つ「しくみづくり」を新たに創造する力を培い、科学技術を支える社会に貢献する「考動力」を身につけ、高い柔軟性のある思考能力を身に付けることができる。

**DP3 (主体性・協働)**

社会のものごとに対して問題意識を持ち、情報収集の過程で他者の意見にも耳を傾け、解決に向けて主体的にかかわることができる。



# システム工学部 (電気電子情報工学科)カリキュラムツリー

- 必修科目
- 選択必修科目
- 選択科目
- 指定科目

**プログラムポリシー** 幅広い学びと豊かな人間性を基盤として、社会に役立つ「しくみづくり」に貢献する電気電子工学、情報通信工学及び情報工学に関する専門知識・技能を修得し、それらを活用し、高い柔軟性のある思考能力を身に付けることができる。さらに、問題意識を持ち、解決に向けて主体的にかかわることができる。

